

前回委員会における需給・価格見通しと実績の対比

1. 前回の委員会（平成23年3月10日）で示した春キャベツの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6月下旬時点）	備考
<p>春キャベツ （4～6月）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、主産地である千葉・神奈川が102%、愛知が5～6月出荷分を中心に106%と多めになるため、前年を上回る見込み。 ・生育状況は、2月上旬までの低温・干ばつがあったものの、その後は解消され、回復する見込み。 ・出荷量は、期間を通して多めであるが、4月までは量販店の販売促進による需要もあり、価格は堅調に推移する見込み。 ・出荷量が増加する5～6月以降、価格は平年並又はそれ以下の水準まで低下するものと見込まれる。 	<p>（入荷量）</p> <p>4月は、愛知・神奈川が生育順調で、不作であった前年より大幅に入荷増となった。5月は、概ね生育は順調であったが前年入荷の多かった千葉・神奈川が前年を下回る入荷となり、前年をかなり下回った。6月は、早い梅雨入りの影響で千葉産の出荷が早く終わったことから前年を大幅に下回った。</p> <p>期間全体としては、前年をわずかに上回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：102）</p> <p>（価格）</p> <p>4月は、前年より大幅に入荷量が増加したこともあるが、震災の影響により業務用需要が減少したこともあり、価格は前年を大幅に下回った。</p> <p>その後も入荷量が前年より減少した旬があったものの、価格は前年を下回って推移し、6月下旬は千葉県産の大幅な入荷の減少に伴い、価格は前年を大幅に上回った。</p> <p>期間全体としては、前年を大幅に下回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：59）</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

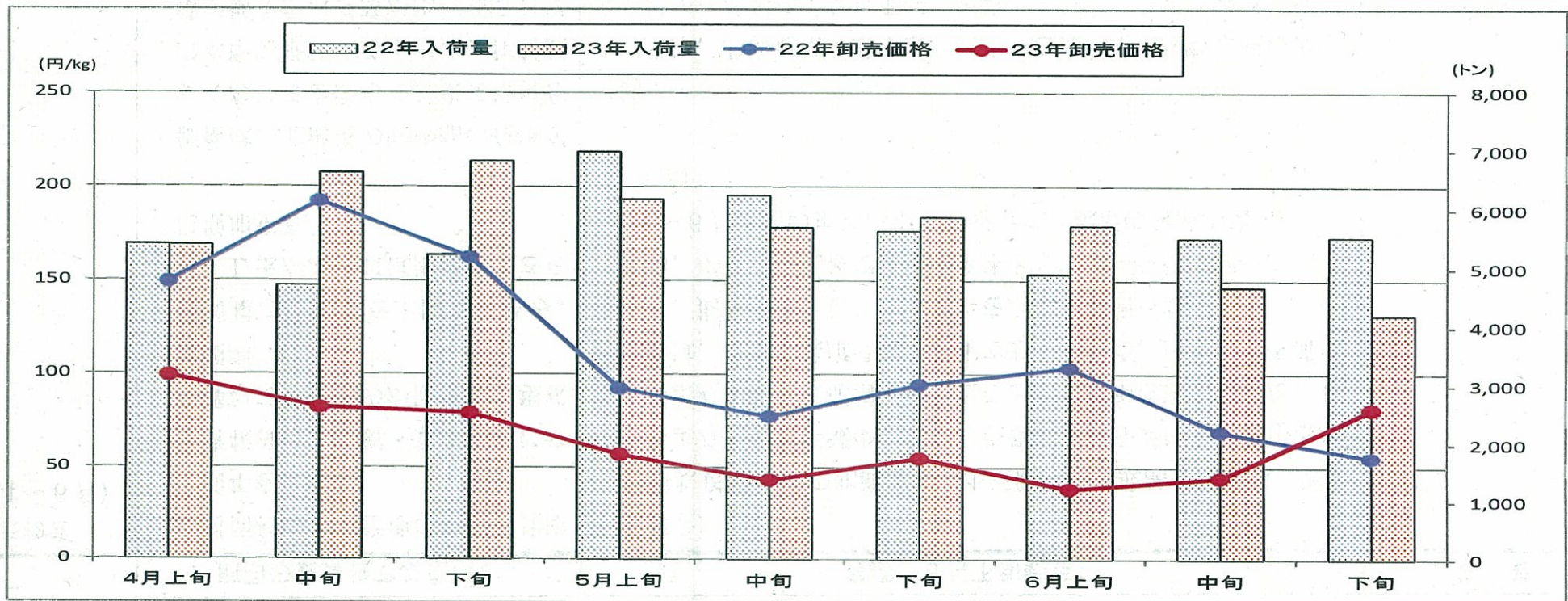
(参考1)

○23年産春キャベツの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	100	141	130	88	91	104	117	85	76	102
価格	66	43	49	62	56	59	37	64	147	59

(参考2)

○23年産春キャベツの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



2. 前回の委員会（平成23年3月10日）で示したたまねぎの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6月下旬時点）	備考
たまねぎ （4～6月）	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、主産地の佐賀・兵庫で前年を上回る。 ・生育状況は、佐賀・兵庫ともにやや遅れていたものが回復し、現状は順調。 ・出荷量は、平年を上回る見込み。 （2L玉が増えれば出荷量はさらに増加する。） ・価格は、北海道の貯蔵品の在庫が多くないことから4月までは現在の水準で推移するものの、作付面積が増えた府県産が出回る5月以降、現在より1割以上低下する可能性が高い。 	<p>（入荷量）</p> <p>4月は、貯蔵ものの北海道産が小玉傾向かつ成品率が悪いことから前年より入荷量が減少したが、佐賀県産が好天により豊作となり前年より大幅な入荷増となったことから前年並みとなった。5月以降は、佐賀・兵庫県産が豊作であったため、前年より入荷増となり、期間全体としては、前年をかなり上回った。</p> <p>なお、平年との比較では期間全体としては、やや下回った。 （4月～6月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：107）</p> <p>（価格）</p> <p>4月は、北海道産が前年より入荷減となる中、佐賀県産の大幅入荷増から前年をかなり下回る価格となった。5月以降は、佐賀県産・兵庫県産の入荷増から前年を大幅に下回る価格となった。</p> <p>期間全体としては、高値であった前年を大幅に下回った。 （4月～6月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：77）</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

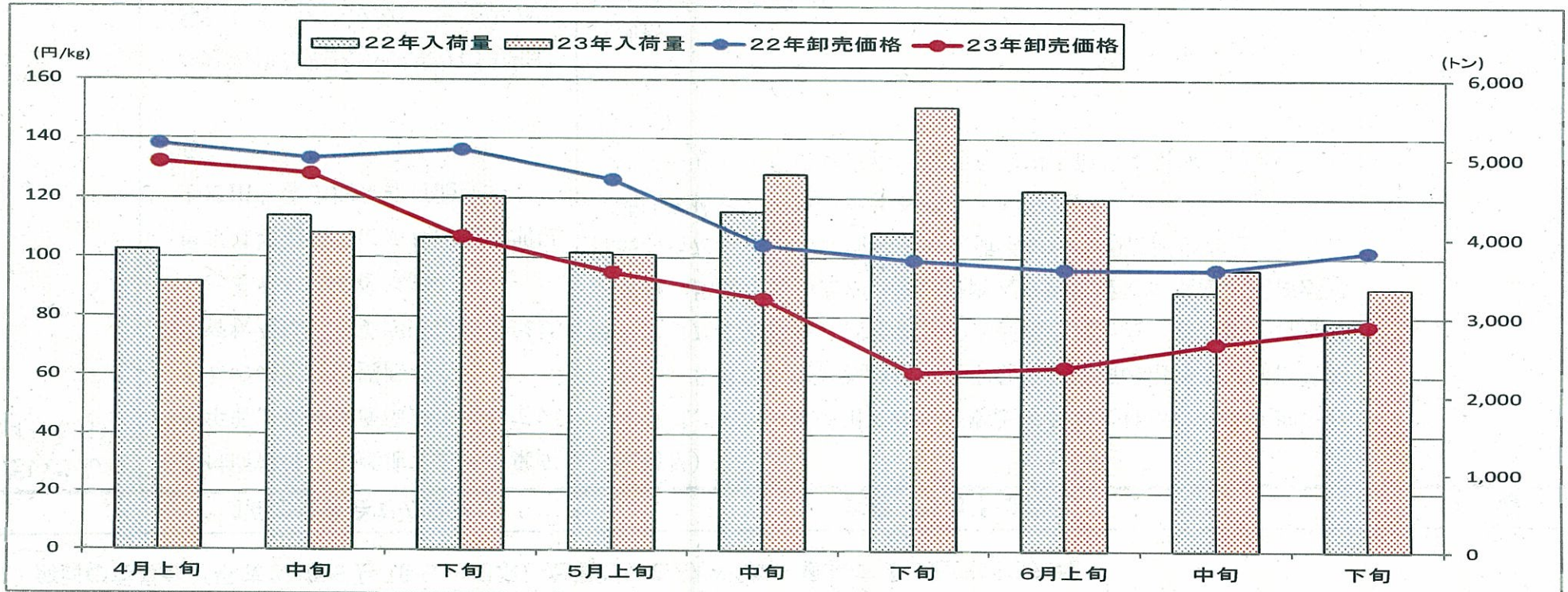
(参考1)

○23年産たまねぎの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	89	95	113	99	111	139	98	108	114	107
価格	96	96	79	75	83	62	66	74	75	77

(参考2)

○23年産たまねぎの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



3. 前回の委員会（平成23年3月10日）で示した春だいこんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6月下旬時点）	備考
春だいこん （4～6月）	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、主産地である千葉が前年並、長崎は面積が増加しているものの出荷は関西中心。 ・生育状況は、千葉が干ばつの影響もあるものの回復基調。 ・単収は増加傾向にあり、面積増以上に出荷量が増える可能性がある。 ・産地の出荷規格が小ぶりの規格に移行しているものの、小売店では一本売での販売が減少している。加えて、小ぶりの規格は加工用に適さず、加工用需要が契約に流れているため市場価格を低下させる方向に働いている。 ・このため価格は、現状のまま弱含みで推移する見込み。 	<p>（入荷量）</p> <p>4月は、千葉・神奈川産が生育順調で前年よりかなり入荷増となったが、5月は、生育順調だった千葉産が降雨の影響で下旬に入荷減となったことから、前年並みの入荷量となった。6月は、青森産が順調な出荷であったが、早い梅雨入りの影響で千葉産の出荷が早く終わったことから、前年より入荷量がわずかに減少した。</p> <p>期間全体としては、前年をやや上回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比： 104）</p> <p>（価格）</p> <p>4月は、不作だった前年よりかなり入荷増となったことにより、価格は前年を大幅に下回り、5月も中旬まで大幅に下回って推移した。6月は、下旬に千葉産などの入荷減から価格は前年を大幅に上回った。</p> <p>期間全体としては、前年を大幅に下回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比： 75）</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

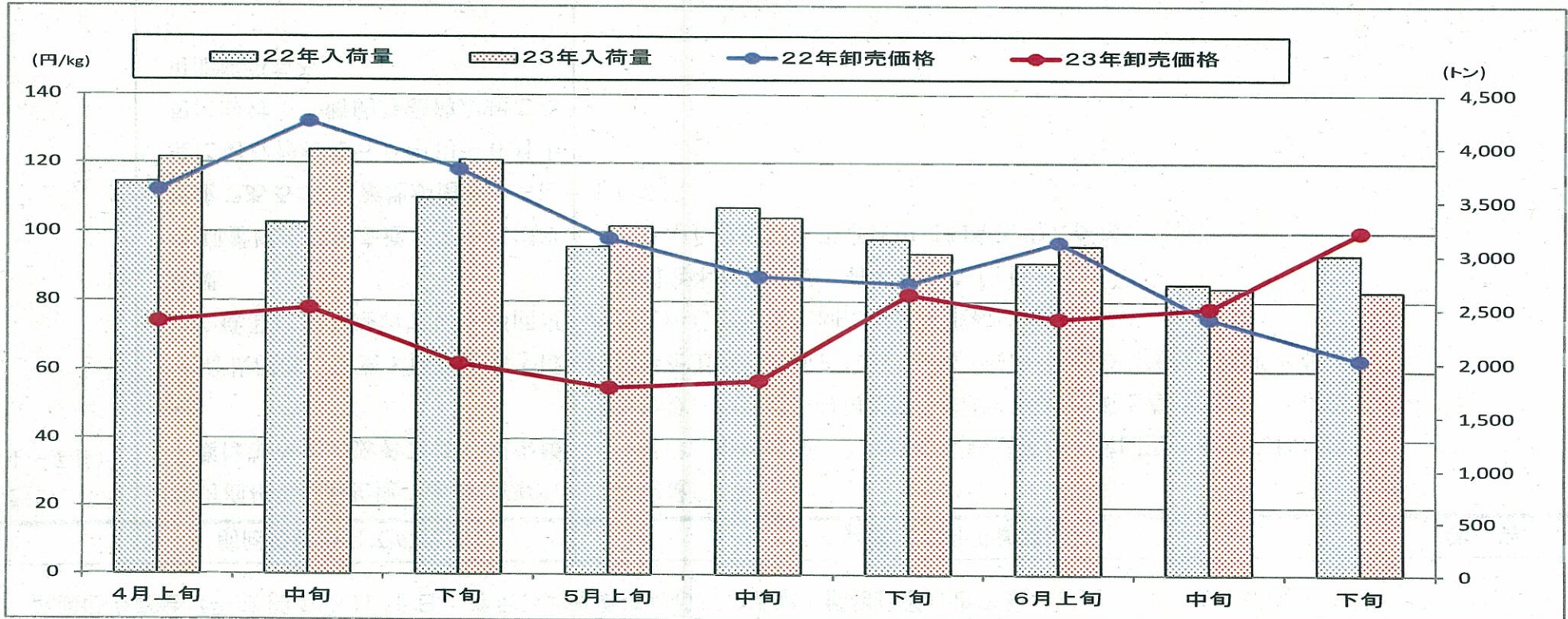
(参考1)

○23年産春だいこんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	106	121	110	106	97	96	105	99	89	104
価格	66	59	53	56	66	96	77	104	159	75

(参考2)

○23年産春だいこんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



4. 前回の委員会（平成23年3月10日）で示した春夏にんじんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6月下旬時点）	備考
春夏にんじん （4～7月）	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、主産地の徳島で微増、千葉は都市化の影響により減少傾向。 ・生育状況は、千葉・徳島とも干ばつや低温により遅れていたが回復基調。 ・出荷量は、全体を通してみれば前年並であるが、主産地が徳島から千葉に切り替わる5月中旬～6月上旬にかけて一時的な品薄が起こる可能性がある。 ・価格は、入荷量によって変動があるものの、基調としては前年並ないしやや高めで推移する見込み。 	<p>（入荷量）</p> <p>4月は、中旬以降、主産地の徳島県産が天候回復で前年より入荷増となり、5月は、中旬以降千葉産が本格出荷となったが、下旬以降前年を上回る入荷となった。6月も千葉産が大幅な入荷増となったことから前年を上回る水準で推移した。</p> <p>期間全体としては、前年をやや上回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：105）</p> <p>（価格）</p> <p>4月上旬の価格は前年を大幅に上回っていたが、中旬以降に主産地の出荷が好調だったことから、その後全体的に下落基調となった。</p> <p>期間全体としては、前年をわずかに下回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：98）</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

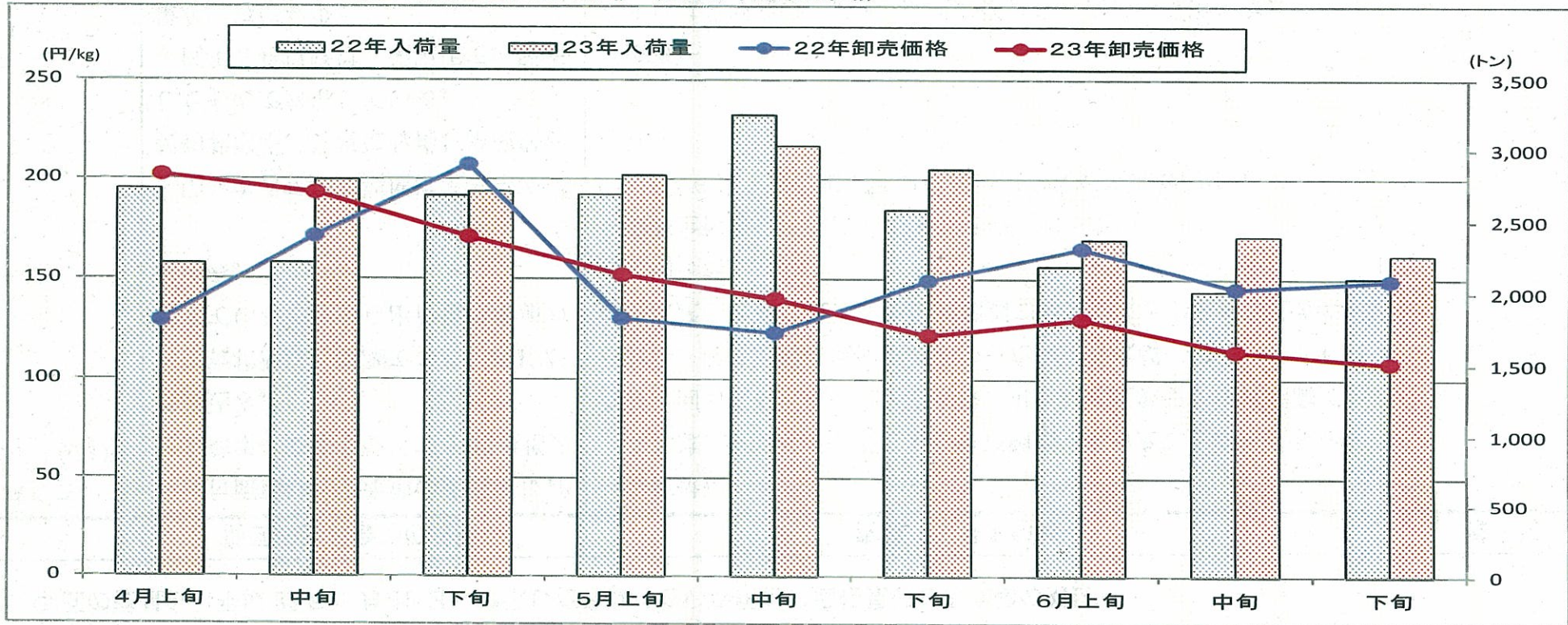
(参考1)

○23年産春夏にんじんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	81	126	101	105	93	111	109	119	108	105
価格	157	113	83	117	114	82	79	79	72	98

(参考2)

○23年産春夏にんじんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. 前回の委員会（平成23年3月10日）で示した春はくさいの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（6月下旬時点）	備考
春はくさい （4～6月）	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、主産地の茨城・長野とも前年の高値を受けて5%程度増える見込み。 ・生育状況は、順調であり、面積が増えていることから出荷量は増加の見込み。 ・国産キムチの需要増はあるものの契約栽培や、冬場に収穫し冷蔵保管したもので対応している。 ・例年5月以降は、量販店での販売量が大幅に減少。 ・このため、4月までは平年並の価格が維持されるものの、5月以降は昨年を大幅に下回って推移する可能性が高い。 	<p>（入荷量）</p> <p>4月は、茨城産が好天により生育順調であったことから前年をかなり上回る入荷となった。5月は、引き続き茨城産が生育順調であったが、特に上旬に入荷量の多かった前年を大幅に下回った。6月は茨城産とともに長野産も生育順調であったことから前年をかなり上回った。</p> <p>期間全体としては、前年よりやや上回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：104）</p> <p>（価格）</p> <p>4月は茨城産の入荷増、震災の影響や本来この時期の需要は乏しいこともあり、価格は高値であった前年を大幅に下回り、5月以降も、回復基調となったものの前年を大幅に下回っていたが、6月に入ると、中旬には前年をやや下回る水準まで回復し、下旬には前年を大幅に上回った。</p> <p>期間全体としては、前年を大幅に下回った。</p> <p>（4月～6月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：59）</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

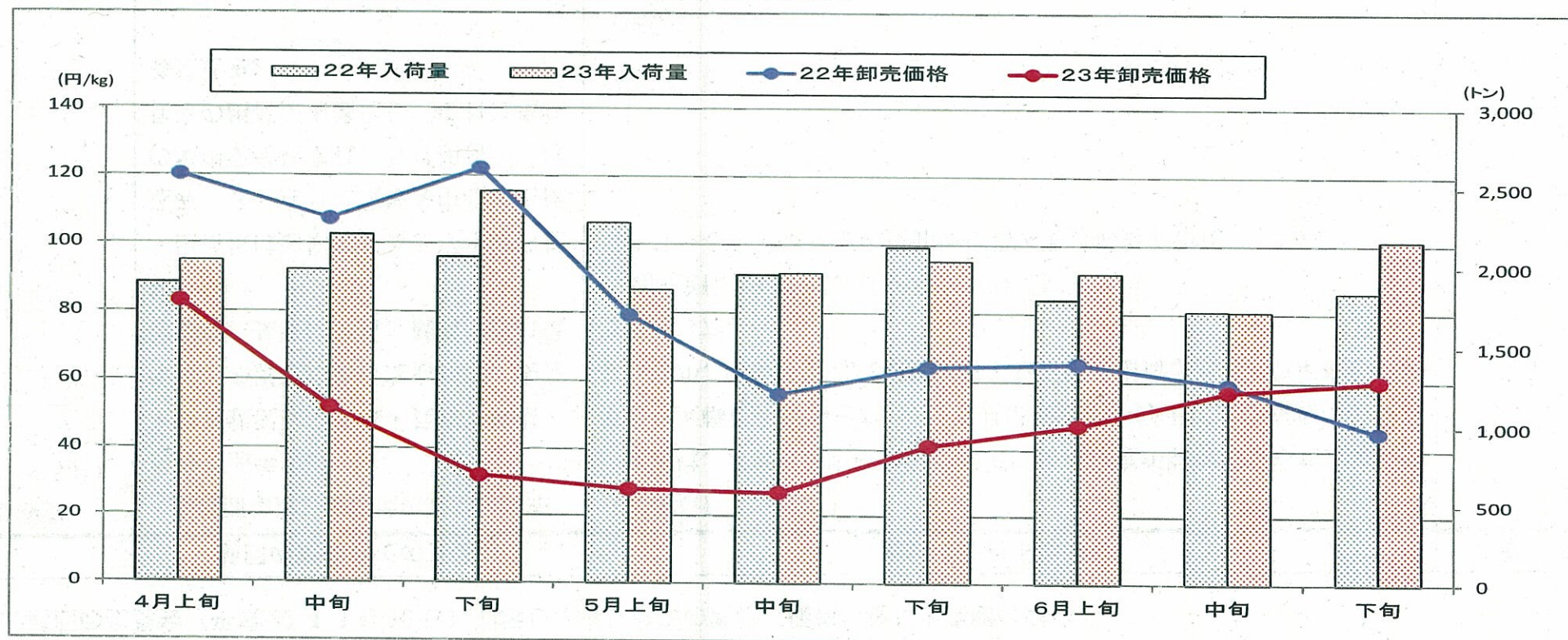
(参考1)

○23年産春はくさいの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	107	111	120	82	101	96	109	100	118	104
価格	69	49	26	35	48	64	72	97	133	59

(参考2)

○23年産春はくさいの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



6. 前回の委員会（平成23年3月10日）で示した春レタスの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（5月下旬時点）	備考
<p>春レタス （4～5月）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、主産地の茨城・兵庫・長野で前年並。 ・生育状況は、茨城・兵庫で低温・干ばつの影響があったものの、現在は順調。長野は降雪、低温で遅れ気味。 ・出荷量は通期で見ると平年並の見込み。3～4月に茨城を中心に出荷の集中が見込まれ、5月初旬からは兵庫の出荷が本格化し、これに重なる見込み。 ・価格は、低い水準で推移しており、今後も高くなる可能性は低いと見込まれる。 ・3～4月に気温が上がれば需要も増えるが、出荷が集中することにより平年を1割以上下回る価格も見込まれる。 	<p>（入荷量）</p> <p>4月は、茨城・兵庫産ともに好天により生育が順調であったため、前年より大幅に入荷増となった。5月は長野産が好天による順調な出荷となったが、出荷終盤の茨城産が前年を下回る出荷となり、前年をわずかに下回った。</p> <p>期間全体としては、前年をかなり上回った。 （4月～5月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：107）</p> <p>（価格）</p> <p>4月は茨城産の入荷増などから、価格は高値であった前年を大幅に下回った。5月も入荷量は前年をわずかに下回ったものの、高値であった前年を大幅に下回った。</p> <p>期間全体としては業務用需要が弱いこともあり、前年を大幅に下回った。</p> <p>なお、平年との比較でも期間全体としては、大幅に下回った。 （4月～5月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：53）</p>	

注）「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1)

○22年産春レタスの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	4月			5月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	102	135	113	96	99	99	107
価格	50	44	41	45	62	96	53

(参考2)

○22年産春レタスの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）

